

2017年度 山口県立大学

YPU ドリームアドベンチャープロジェクト

「県立大生と訪ねる やまぐち案内ブック」づくり企画

— 中間報告書 —



2017年11月

概要

本企画では、山口県立大学の学生が山口の魅力発見、観光案内ができるようになるためのハンドブックを作成する。学生にアンケートを実施し、SNS 映えがでるような観光地やイベントなどの紹介をする予定である。また、県の Yamaguchi ebooks など山口県立大学の学生が作成した本として掲載していただくことを目指す。これらの成果として、学生が県内外を問わず、帰省先や就職先で山口県についての広告塔として情報発信できること目標としている。

企画進行状況

本づくりを企画する前に、本をつくるとはどういうことかを、実際に本を作成してこられた元山口県立大学国際文化学科教授の安溪遊地先生を講師に勉強会を開催した。安溪先生からは、本のつくる上での注意点などを実際の経験をもとにご指導をいただいた。この勉強会で学んだことを踏まえて、6月の選考会へのぞむことができた。(本づくり勉強会は5月26日)



【↑本づくり勉強会 5月26日】

選考会による認定後、まず学生へ紹介するものとして山口県の SNS 映えスポット、デートスポットなどを決定した。また、県外生から興味深い情報として山口市の姫山伝説を紹介することにした。これら3つについて約60名以上にアンケートを行い、どのような場所に人気があるかなどを調べることができた。またその理由や魅力などを本で紹介するよいである。

8月には中国とカナダの留学生とともに山口県の観光について話し合いを行った。英語を使い、山口県の紹介なども行った。最後に、グループに分かれ、多くの山口県や山口県内

の市町村の観光パンフレットを使い、観光プランを作成した。わずかな時間であったが情報共有を行い、山口県を外の視点から観光を考える良い機会になったのではないかと思います。



【↑留学生と観光についての話し合い】

9月～10月にかけてアンケートの分析に入った。例えば、どのくらいの学生が SNS を利用し、山口県で SNS 映えをしているか。姫山伝説では山口県民がどのくらい認知度があるかなどのデータを得た。また、メンバーが実際に観光地に行き、その場の雰囲気などを調査した。



【↑防府市 右田ヶ岳】



【↑山口市 瑠璃光寺】

今後の予定

今後はこれまで撮影した写真や原稿をアドビ社のインデザインを使用し、本の原稿を編集し、印刷会社と打ち合わせを行う予定である。12月には製本をする。

主な変更点

今回の本のページ数を100ページにする予定であったが、観光地へ行く時間が取れなかったため、ページ数を50ページに減らし、カラー印刷ページを多くしようと考えている。費用については、100ページのときよりも安くなるため、予算を超える心配はない。また、カラーページの方が白黒印刷に比べ、写真での写りが良くなり、デザインやイメージが良くなるのではないかと予想される。

今後の活動にむけて

現在、原稿の執筆や写真の編集作業中であるが、この作業を怠ると製本後に間違いが見つかり後戻りできない状態になるため、より一層気を引き締めての作業が求められる。また、人の写真を本に入れるため、その人の権利を侵害しないための承諾を行う。

現在、多くの観光情報誌などが存在する。その中で、差別化を図り、学生らしさのある興味深い本をつくるよう頑張りたい。

「県立大生と訪ねる やまぐち案内ブック」づくり企画
代表：伊藤光平（国際文化学科2年 所属）